

## 平成 27 年度 第 3 回広報・広聴委員会会議報告

日 時 平成 27 年 11 月 13 日（金）12:00～13:30

場 所 大仙市中央公民館 和室

出席者 辻岡、相京、川上、坂口、高木、深井、  
柳沢（事務局）

（欠席） 藤吉委員

### ○協議・報告

#### （1）協 議

##### a 会報第 99 号の進捗状況

- ・会報第 99 号（大会特集号）の構成と原稿依頼等の進捗状況を確認した。
- ・開会行事の来賓あいさつに秋田県副知事[会長事務局]、上川陽子衆議院議員[会長事務局]、記念講演の前に大仙市長あいさつ[大仙市福原勝人氏]を入れる。委員会後、調整の結果、執筆担当は[ ]内で決定、依頼済。
- ・テーマ研究会の質疑・応答は、記録担当の三浦貴之氏・大山淳子氏（秋田県公文書館）に依頼しなおす（依頼文郵送済）。

##### b 会誌『記録と史料』第 26 号の構成について

- ・会誌第 26 号の構成と原稿依頼等の進捗状況を確認した。
- ・10 月に提出された論考については、今回の委員会に提出された査読結果を事務局でとりまとめ、査読者に確認のうえ執筆者に返却する。
- ・書評については、一部本が入手できていないものがあり、早急に送ってもらえるよう交渉する。
- ・「会員刊行物情報 - 文献案内 -」については、今期からファックスによる受付を原則としてやめ、機関会員にフォーマット（Excel）をメールで送付し、データで返送してもらう方式に変更した（メールアドレスがわかる 135 機関中 107 機関にメール送付済）。  
個人会員に対しては、ホームページで広報を行うほか、昨年、個人会員から情報を寄せてもらった刊行物については、別途、可能な限り個人会員にメール等で呼びかける。
- ・『『記録と史料』バックナンバー掲載論文等の web 公開について』は、役員会で議論する必要があり、次々号に見送る。
- ・執筆要領については、誤植や文字化け、それ以外、今回の委員会で検討した結果を事務局でまとめた修正案を、メーリングリストで各委員にかえし、承認をうける。また「(参考：電子媒体原稿仕様)」は、内容が現状にそぐわなくなっており、2 のみ一部執筆要領に取り込むが、それ以外は削除する。
- ・各委員は、初校の段階で内容確認や校正を行う。

### c その他

- ・次号の会報は 100 号（平成 28 年 9 月刊行予定）となるため、次回の委員会で記念企画について検討する。
- ・次号には、調査・研究委員会から今期の調査活動について執筆したい旨、申し出がある。
- ・会誌『記録と史料』のデジタル公開の前提として、バックナンバーの”在庫一掃セール”（たとえば、半額）を行う必要があるのではないか（2 月の役員会で要検討）。
- ・新入機関会員には、バックナンバーを着払いで配付する（意向確認の上）。

## (2) 報 告

### a 会誌『記録と史料』の販売状況

- ・予算額 111,000 円に対して、10 月末現在で 80 冊を販売し、96,000 円（送料を含まない）の売り上げがあった。

### b 『記録と史料』等刊行物の pdf 作業について

- ・『記録と史料』のバックナンバー（1 号、3～25 号）について、刊行物をスキャンし、pdf を作成（テキスト認識も実行）。論文毎に切り分ける作業も完了している（753 ファイル）。保存用が欠けている第 2 号については、寒川文書館のものを借用し、今後スキャンを行う。